



会長 小高俊明



幹事 御幡光広

2025年10月14日(火) 第1740回 日野RC合同献血例会 於:高幡不動尊駐車場

恒例の社会奉仕プログラム、日野 RCとの合同「献血例会」早朝から担当委員会と双方の会員が駐車場に集合、準備を進め定刻には日赤の献血車も受け入れ準備を完了、献血来場者を待つ体制が整いました。

天候にも恵まれ、例年この時期に献血に訪れる市民もおられ受付でお声をかける方もおられました。午前は 10時から 12時まで、昼食休憩をはさみ午後1時から3時まで会場内外で献血を呼びかけました。

今回も多くの方のご協力で、多くの血液が提供されました。心より感謝申し上げます。

来場者59名 献血者 200mℓ:3名 400mℓ:49名

■会長報告 会長 小高俊明

会員の皆様のご協力のお陰で、献血例会にも多くの会員の皆様に出席をいただき誠にありがとうございました。お陰様で 59名の方のお申し込みがあり内、お受けられなかった方 7名、52名の方に献血をいただきました。

ありがとうございました。

◆◆◆◆◆ 献血について ◆◆◆◆◆

◆献血は、患者の命を救う重要なボランティア活

動であり、医療において欠かせない役割を果たしています。

献血の種類

献血には主に以下の2種類があります：

1. **全血献血**：血液中のすべての成分を採血します。200mℓまたは 400mℓの献血が可能です。
2. **成分献血**：血小板や血漿など特定の成分のみを採血します。血漿成分献血と血小板成分献血があります。

献血の重要性

献血された血液は、主に以下の目的で使用されます：

輸血：けがや病気の治療に必要な血液製剤として使用されます。

医薬品の製造：血漿分画製剤など、さまざまな医薬品の原料としても利用されます。

献血の必要性

日本では、毎日約 14,000人分の献血が必要とされています。しかし、少子高齢化の影響で献血可能な人口が減少しており、特に若い世代からの協力が求められています。

献血は、患者の命を救うだけでなく、医療インフラを支える重要な活動です。ぜひ、献血に参加してみてください。

献血者の健康

健康な方であれば、献血による身体への影響はほとんどありませんが、体調が良くない時に献血を行うと健康を損ねる可能性があります。献血者の健康を守るため、さまざまな基準が設けられています。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1740回	28	22	1	-	5	82.1
第1738回	28	20	1	0	7	75

ニコニコBOX

本日 1,240円

累計 358,240円

本年度目標額1,200,000円 達成率29.8%

※今週のメイクアップ 水野さん

※先々週の後メイクアップ なし



写真の横断幕は、10/26実施のR財団補助金事業の活動用に作成したものを使用しています

★★★★秋の味覚★★★★ 洋梨の香り

秋に旬を迎える洋梨は、穫れたてよりも「追熟」させることで、甘みや香りがぐっと引き立ちます。買ったときはまだ堅くても、数日室温に置いておくことで軸の周りが柔らかくなり、食べごろになります。和梨はシャキシャキ食感が魅力ですが、洋梨はとろけるような舌触りと芳醇な香りが自慢。熟してくると甘い香りがほのかに漂い、秋の楽しみを感じさせてくれます。